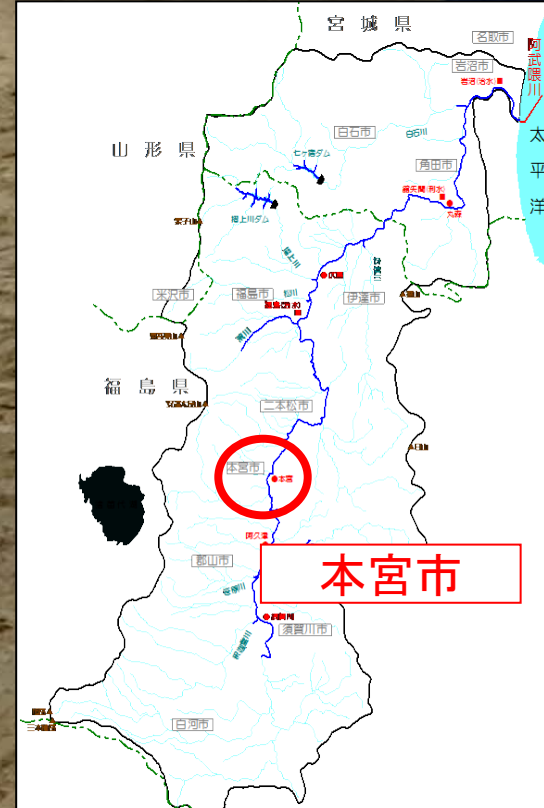


防災ヘリによる
救助訓練



本宮市総合防災訓練（釜段工法）のようす

水防団との総合防災訓練を通じて
“いつ起こるかわからない災害”への備えを確認しました！

本宮市総合防災訓練とは

- 平成28年10月1日、白沢運動場で4回目となる訓練を開催
- 台風による大雨・洪水警報が発令等を想定して訓練を実施。
- 水防団、警察署、安達広域消防本部、埼玉県上尾市、自衛隊、防災協定を締結している事業所など約1,000人が訓練に参加。

◆今後も引き続き、水防団の活動を支援します

～日頃からの備えの大切さと、いざという時の
対応について学ぶことができました～



訓練中の水防団員のようす



完成した釜段

【参考】本宮市地域防災センターが完成

- 地域の防災・減災の拠点施設として整備。
- 1階には水中ポンプや和舟5艘,エンジン付のボート, その他防災資材などの備蓄倉庫、2階には会議室。

◆落成式のようす（平成28年6月23日）



本宮市長

完成した防災センター

●本宮市長「この施設をしっかりと活用し、
防災減災に努めていく」

地域を守る本宮市消防団・自主防災組織について

◆本宮市消防団（水防団）



河川のパトロール

- 本宮市消防団は県内で唯一定数を満たしている（充足率100%）消防団です。
- 地域の取り決めとして、各戸の長男が5年程度のスパンで消防団に入団することになっています。
- 消防団長は新入団員に「あなたたちは20歳までこの地域の周りの皆さんに育ててもらい、見守っていただいた。今度は消防団に入って周りの地域の人に恩返しをしてください。」と声をかけます。

◆本宮市地域懇談会



市長の御説明

- 本宮市長自ら地域懇談会で、住民と対話し、頂いた要望や課題を踏まえ、市政に活かしています。
- 職員も各地区で自主防災組織の設置・育成に関する説明会※を実施。

※平成28年度実績：115地区の行政区178人を対象に、11回の説明会を実施しました